

熊野速玉大社の神像

熊野速玉大社に伝わる4体の木彫像。
高さ約1メートルと大きく、つくられたのは
なんと平安時代の9世紀、1200年くらい前！
日本を代表する文化財として〈国宝〉に
指定されています。実寸大のレプリカが
主役の今回のワークショップは、
国宝の神像の姿かたちじつくりとふれる
またとない機会です。

みんなで作る 文化財のレプリカ

1000年以上の時をこえて今にのこる文化財を
守るのはとても大変。本物を守るため、
大活躍するのが文化財のレプリカです。
像の体をつくったのは和歌山県立和歌山
工業高等学校の生徒たち。そして彩色には、
新宮のみなさんにかかわってほしいと
思っています。完成したレプリカは、
神社におさめ、おひろめされます。

の
せて
ゆ
き
ま
す
み
ん
な
で
色
を



ま
だ、
ま
っ
白
な
お
お
き
な
レ
プ
リ
カ
に

講師：平野薫禮（神道芸術家）
解説：和歌山県立博物館学芸員

熊野速玉大社国宝御神像 複製彩色ワークショップ

会 場 熊野速玉大社 新宮市新宮1番地
開催日時 令和6年10月27日（日）①13:00～14:30 ②14:45～16:15
対象者 新宮市内の小学校5・6年生、中学校1～3年生
応募方法 申込みフォーム チラシ表面のQRコードから
申 込 チラシ配布から、10月18日（金）12時まで 参加無料
各部5～10人程度（希望者多数の場合は抽選）
※会場までの交通手段は各自ご手配ください
駐車場有 保護者や兄弟の見学が可能です
問い合わせ 和歌山県立博物館 TEL/073-436-8670